

中学英語の確認テストを宿題・授業で活用。 繰り返し学習で、学力が大幅向上

広島翔洋高校 (広島・私立)

【活用キーワード】 >> ● 到達度テスト ● 基礎学力強化 ● AL(アクティブ・ラーニング)

「スタディサプリ」活用法

自動採点機能を使い、AL型授業を展開



この日、1年特進クラスで英語を教えた松崎先生は、サプリの「for TEACHERS」機能を使い、宿題配信した確認テスト(不定詞)の点数から生徒をグループ分け。正答率の高い生徒は、「小先生」と呼ばれ、教える役も担う。

授業では、内容に連動した 中学時の復習も同時に実施

「本日の知識は“to不定詞”です。まず、7分で中学3年の確認テスト15問を行います。グループ内で答えを統一してください。わからない人は、小先生に聞いて」と、松崎先生。



授業+確認テストで学んだ知識を 使った英作文宿題で、力を付ける



確認テスト(①の部分)を行ったら、答え合わせ。「全問正解なら40ワード、一問間違ったら50ワードで今日学んだ知識を3つ以上使い、今日のテーマに沿って英作文を書く。これが宿題」と松崎先生。英作文を書くのは、「スタディサプリ連動プリント」として先生が独自に作成した②の部分。生徒の英作文の解説などは、次の授業で行う。

県ベスト8のサッカー部で1年特進コースの2人も、サプリで勉強と部活を両立



「サプリの講義は、いつも1.25倍速で視聴。繰り返し確認もできるので理解しやすいです。5月のテストで49だった英語の偏差値が、10月には55になりました」1年1組/芥川勇凱くん(写真右)「1時間かかる通学時間にサプリで勉強。英語の成績が上がり、英数国の総合順位が学年10位になりました」サッカー部の1年生で唯一のレギュラー、1年1組/原信義くん(写真左)

英語の偏差値が50から59.9にUP!
英検2級(1次)合格



「中学英語の復習と関先生の高校英文法講座を勉強するうちに、偏差値が半年で大幅UP。今は大学受験を目指し、サプリのセンター試験対策も活用中です」2年1組特進コース/櫻井琴乃美さん

取材・文/丸山佳子

クラブ活動が盛んで、全国大会などで優秀な成績を修めている広島翔洋高校。近年は従来以上に大学進学に力を入れ、2014年より、校内の進学ゼミに参加する生徒を中心に、希望制で「スタディサプリ」を導入してきた。

「当時は、ゼミでの指導を補う目的でサプリの講義動画を活用していました。推薦やAO入試で進学する生徒が増えたこともあり、16年度からは国公立・有名私大を目指す特進コースを普通科に1クラス設置。特進コースでのサプリ活用が課題になりました。1年目は手探りでしたが、2年目の昨年、わずか半年で英語の偏差値は平均で25.9ポイントアップするという成果が出ました」と、進学指導部の吉村淳先生。

課題
文武両道校を目指し、
2016年特進コース開設。
進学実績を伸ばしたい

活用
宿題配信・回収・採点の
自動機能を活用。AL型
授業で、半年で成果が

2017年4月、特進コースの生徒に「スタディサプリ」の「到達度テスト」を行ったところ、1、2年生とも数学より英語が弱く、中学からの学び直しが必要だったという。そこで、英語の松崎建詩先生が考えたのが、宿題の配信、回収、採点が自動でできるサプリの機能「for TEACHERS」を活用し、宿題と授業で中学英語を繰り返し学ばせることだった。

①まず、視聴を終えた講義動画のなかから授業内容に関係ある中学英語の「確認テスト」を宿題配信。「テストの内容も担保されているし、回収・採点が自動なのでとても便利です」と松崎先生。

②宿題の点数を見て、正答率の高い生徒と低い生徒を組み合わせ、グループやペアで授業を行う。「正答率が高い生徒は他の生徒に教えることで知識が整理され、

教わる生徒も友達には質問がしやすいので、学力が高まります」と言う。

③授業の始めに、宿題の中学英語より難しい中学復習の「確認テスト」をグループワークで再度解き合い、答え合わせ。

④授業と確認テストで学んだ知識を使った英文文の宿題を提示。英文文のヒントを授業で解説するので生徒も真剣だ。「毎回英文文の宿題を出すのは、リアルな英会話や英作文が、今後の受験に必要な可欠だからです。『宿題の英文文は○○大学の入試問題だよ』と目標を意識させれば、生徒もがんばります。知識は「スタディサプリ」で繰り返し学習し、授業では、知識を使いこなす技術や表現力、思考力、判断力を鍛えたい。それが、ゴールにアプローチできる授業だと考えています」

そうした松崎先生の指導方法と成果は「他の先生たちの刺激になっている」と、導入当初から「スタディサプリ」を活用してきた数学の国貞宗久先生。「本格的な授業改革はこれから。楽しみです」と言う。



写真右から
数学科
国貞宗久先生
理科 進学指導部
吉村 淳先生
英語科
松崎建詩先生

School Data

創立1925年/普通科・ビジネス科/生徒数597人(男子336人、女子261人)進路状況(2017年3月実績)大学進学67人、短大進学9人、専各進学51人、就職43人、